

事業報告書

平成17年度（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）

(1) 農作物共済
(引 受)

区分	項目	組 合 数	組 合 員 数	引 受 面 積	引 受 収 量	共 済 金 額
					基準生産金額	
水 稲	一 筆	3	37,506 ^人	2,325,817 ^a	79,910,361 ^{kg}	18,115,933,748 ^円
	半相殺	2	42	11,065	504,865	114,604,355
	全相殺	2	9	11,332	540,779	122,756,833
	品 質	1	17	1,828	20,679,573 ^円	17,880,722
	計	3	37,574	2,350,042		18,371,175,658
麦	18年産	一 筆	11	720	9,109 ^{kg}	1,111,298
		災害収入	386	69,477	228,304,775 ^円	199,899,175
		計	397	70,197		201,010,473
	17年産	一 筆	11	498	7,025 ^{kg}	864,075
		災害収入	415	71,400	226,155,920 ^円	196,001,389
		計	426	71,898		196,865,464

区分	項目	保 険 金 額	通常歩合保険金額	徴 収 保 険 料	交 付 金	手 持 保 険 料	
		円	円	円	円	円	
水 稲	一 筆	17,861,124,230	81,572,012	10,967,898	34,379,405	45,347,303	
	半相殺	112,377,530	742,273	216,097	327,506	543,603	
	全相殺	119,692,955	1,021,290	232,298	532,174	764,472	
	品 質	17,563,254	105,821	29,487	48,803	78,290	
	計	18,110,757,969	83,441,396	11,445,780	35,287,888	46,733,668	
麦	18年産	一 筆	1,064,624	15,558	0	10,694	10,694
		災害収入	180,315,060	6,528,037	0	5,703,417	5,703,417
		計	181,379,684	6,543,595	0	5,714,111	5,714,111
	17年産	一 筆	827,784	12,097	0	8,314	8,314
		災害収入	176,815,236	6,395,383	0	5,574,730	5,574,730
		計	177,643,020	6,407,480	0	5,583,044	5,583,044

引受の状況

① 水稲の部

水田農業構造改革対策の実施に伴い、大豆等他作物から水稲への作付転換等により対前年度引受面積105ha、共済金額266,573千円の増となったが、組合員数は1,265人の減となった。

② 麦の部

対前年度共済金額は4,145千円の増となったが、組合員数29人、引受面積17haの減となった。

(被害)

区分	項目	被害組合数	被害組合員数	共 済 減 収 量	共 済 金	保 険 金	共 済 金
				生産金額の減少額			共済金額
水 稲	一 筆	3	1,549 ^人	313,381 ^{kg}	71,026,860 ^円	16,631,816 ^円	0.4 [%]
	半相殺	1	1	249	56,523	14,130	0.05
	全相殺	1	1	1,914	434,478	108,619	0.4
	品 質	1	1	46,862 ^円	46,862	11,715	0.3
	計	3	1,552		71,564,723	16,766,280	0.4
麦	一 筆	1	2	334 ^{kg}	41,082	10,270	4.8
	災害収入	2	83	7,810,160 ^円	7,388,112	1,847,028	3.8
	計	3	85		7,429,194	1,857,298	3.8

被害の状況

① 水稲の部

移植適期の少雨に伴い各地で移植不能が発生。また、台風14号の影響による大雨から土砂流入等による収穫皆無やウンカ、カメムシ、猪等による病虫害、獣害が発生したものの通常災害となった。

② 麦の部

カラス、カモ等による鳥害や一部で湿潤害が発生したものの、収穫期は好天に恵まれたことからカビ等の発生もなく通常災害となった。

(支払)

区分	項目	支払月日	支払保険金	保険金支払財源				
				再保険金	手持保険料 充当額	法定積立 金額	特別積立 金額	その他
水稲	一筆	12月19日	16,631,816	0	16,631,816	0	0	0
	半相殺	12月19日	14,130	0	14,130	0	0	0
	全相殺	12月19日	108,619	0	108,619	0	0	0
	品質	12月19日	11,715	0	11,715	0	0	0
	計		16,766,280	0	16,766,280	0	0	0
麦	一筆	9月13日	10,270	0	8,314	0	0	1,956
	災害収入	12月2日	1,847,028	0	1,847,028	0	0	0
	計		1,857,298	0	1,855,342	0	0	1,956

(2) 家畜共済

(引受)

区分	項目	有資格 頭数	事業計画 頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	保険金額	再保険金額
乳用牛等 胎児		4,513	4,550	4,165	96.7	525,194	420,155,200	262,597,000
			650	862				
肉用牛等 胎児		17,720	17,214	16,062	93.0	3,136,718	2,509,374,400	1,568,359,000
			6,000	5,525				
馬		47	41	36	87.8	8,060	6,448,000	4,030,000
種豚		1,273	500	422	84.4	29,610	23,688,000	14,805,000
肉豚		7,283	3,100	2,877	92.8	22,479	17,983,200	11,239,500
計		30,836	32,055	29,949	93.4	3,722,061	2,977,648,800	1,861,030,500

区分	項目	徴収保険料	組合交付金	納入再保険料	交付金	手持保険料
乳用牛等 胎児		2,950,633	0	0	18,166,928	21,117,561
肉用牛等 胎児		7,400,815	201,185	0	24,314,001	31,513,631
馬		220,966	0	0	52,268	273,234
種豚		804,036	0	207,036	0	597,000
肉豚		1,493,474	0	373,679	0	1,119,795
計		12,869,924	201,185	580,715	42,533,197	54,621,221

引受の状況

制度改正により新たに追加された乳用子牛等とともに肉用子牛等の引受が伸び、子牛等については対前年度407頭、共済金額23,580千円の増となったが、全体では595頭、共済金額67,457千円の減となった。

(事 故)

区分	項目	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払保険金	件数	支払保険金
乳用牛等 胎児	頭	149	178	378	33,079,603	3,543	15,979,126
	頭	51					
肉用牛等 胎児	頭	187	99	523	48,058,972	9,206	28,815,044
	頭	237					
馬	頭	4	0	4	512,000	13	49,072
種豚	頭	45	0	45	2,062,397	0	0
肉豚	頭	495		495	2,352,316		
計		1,168	277	1,445	86,065,288	12,762	44,843,242

事故の状況

肥育牛の突然死及び子牛の下痢の多発により、死廃事故は対前年度140頭、保険金153万円の増。同じく病傷事故でも977件、保険金129万円の増加となった。なお、乳用牛等にヨーネ病が2頭発生し法令殺となった。

(損害防止)

実施種目		対象頭数 回数	経費概算	摘 要
特定損害防止		頭 8,758	千円 8,132	繁殖障害、ケトン症、乳房炎、金属異物性疾患、尿石症、肝蛭症、ピロプラズマ病
一般損害防止	健康検査	29,949	4,775	一般健康検査、繁殖牛の検診、多頭農家の巡回検診
	予防衛生措置			畜舎消毒、ボバクチン、ビタミン剤、ワクチン等による予防措置
	飼養管理指導			巡回時における飼養管理指導
	講習会			畜産研修会、講習会等

(臨床検査室実績)

項目 区分	血液検査	細菌検査	ビタミン測定	糞便検査	外部寄生虫	計
検査件数	件 43	件 58	件 0	件 200	件 0	件 301
経費概算	円 51,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 51,000

(家畜診療所)

診療所名	職員数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格 頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	
東部地区	人 3	頭 4,328	頭 5,602	件 1,236	件 136	頭 2,351	頭 1,453	円 3,706,043	
中部地区	3	4,565	4,321	547	115	873	1,361	1,454,105	
阿東地区	3	1,769	2,617	1,420	559	1,989	726	1,799,054	
北部地区	3	4,658	3,956	1,926	507	1,152	1,043	1,120,335	

(3) 果樹共済

(引受)

年産	項目 区分	組合 数	組合 員数	引受 面積	標準 収穫量	共済金額	保険金額	徴収 保険料	交付金又 は納入再 保険料	手持 保険料
18	うんしゅう みかん 減収総合	3	人 215	a 6,343	kg 706,356	円 25,015,000	円 24,259,074	円 707,143	円 △124,751	円 582,392
17	うんしゅう みかん 特定危険	1	102	4,707	699,179	28,753,000	27,426,911	169,670	71,854	241,524
19	なつみかん 減収総合	1	3	62	5,083	165,000	159,591	4,228	2,292	6,520
	計	3	320	11,112	1,410,618	53,933,000	51,845,576	881,041	△50,605	830,436
17	うんしゅう みかん 減収総合	3	229	7,010	731,567	29,978,000	29,071,464	847,611	△152,420	695,191
	なつみかん 減収総合	1	4	108	11,132	391,000	379,027	15,015	△783	14,232

引受の状況

- ① うんしゅうみかん(減収総合)……栽培農家の廃園等が進み、対前年度組合員数14人、面積667 a、共済金額4,963千円の減となった。
- ② うんしゅうみかん(特定危険)……昨年の台風被害により栽培農家の廃業、伐採等により対前年度組合員数8人、面積701 a、共済金額14,734千円の減となった。
- ③ なつみかん(減収総合)……栽培農家の廃園等により対前年度共済金額31千円の減となった。

(被 害)

区分	項目	被害組合数	被害組合数 員	認定減収量	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共 済 金 額
うんしゅうみかん 減 収 総 合		3	人 13	kg 30,627	円 390,290	円 292,832	% 1.3
うんしゅうみかん 特 定 危 険		0	0	0	0	0	0.0
な つ み か ん 減 収 総 合		0	0	0	0	0	0.0
計		3	13	30,627	390,290	292,832	0.7

被害の状況

① うんしゅうみかん（減収総合）

夏場の高温、寡雨により生理落下が発生。また、9月の台風14号の被害は、比較的軽微で通常災害となった。

② うんしゅうみかん（特定危険）

被害なし。

③ なつみかん（減収総合）

被害なし。

(支 払)

区分	項目	支払月日	実 支 払 保 険 金	保 険 金 支 払 財 源					実 支 払 保 険 金
				再 保 険 金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
うんしゅう み か ん 減 収 総 合		2月24日	円 292,832	円 0	円 292,832	円 0	円 0	円 0	% 100.0
うんしゅう み か ん 特 定 危 険		—	0	0	0	0	0	0	0.0
な つ み か ん 減 収 総 合		—	0	0	0	0	0	0	0.0
計			292,832	0	292,832	0	0	0	100.0

(4) 畑作物共済
(引 受)

年産	畑作物共済再保険区分		組合数	組員数	引 面	受 積	引受収量 基準生産額	共済金額	保険金額	徴 収 保 険 料	交 付 金	手持保険料
	区分	共済目的										
17	第1区分	大豆	3	505人	34,917 ^a	376,387 ^{kg}	77,912,109 ^円	70,120,897 ^円	3,511,035 ^円	853,687 ^円	4,364,722 ^円	
18	第2区分	茶	1	11	1,415	16,229,770 ^円	6,212,000	5,590,800	117,412	104,823	222,235	
計			3	516	36,332		84,124,109	75,711,697	3,628,447	958,510	4,586,957	
17	第2区分	茶	1	10	1,286	15,493,855 ^円	6,146,000	5,531,400	116,164	103,709	219,873	

引受の状況

① 大 豆

作付が大幅に減少したことに伴い、対前年度組合員数34人、面積7ha、共済金額2,372千円の減となった。

② 茶

高齢化や廃園の増加等により引受が年々低下していたが、17年産で晩霜の被害が発生したことから対前年度面積129a、共済金額66千円の増となった。

(被 害)

畑作物共済再保険区分		被害組合数	被害組合員数	共済減収量	共 済 金	保 険 金	共 済 金
区 分	共済目的			共済減収金額			共 済 金 額
第1区分	大 豆	3	115人	27,145 ^{kg}	5,619,015 ^円	5,057,111 ^円	7.2%
第2区分	茶	1	5	705,477 ^円	415,786	374,207	6.8
計		3	120		6,034,801	5,431,318	7.2

被害の状況

① 大 豆

夏場の干害やカメムシ多発に伴う虫害が発生。また9月の台風14号による冠水等から水害が発生し、支払共済金5,619千円、金額被害率7.2%の異常災害となった。。

② 茶

4月27日の晩霜により凍霜害が発生し、支払共済金415千円、金額被害率6.8%の異常災害となった。

(支 払)

畑作物共済再保険区分		支払月日	実 支 払 保 険 金	保 険 金 支 払 財 源					実 支 払 保 険 金
区 分	共済目的			再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
第1区分	大豆	3月24日	5,057,111 ^円	141,216 ^円	4,364,722 ^円	551,173 ^円	0 ^円	0 ^円	100.0%
第2区分	茶	9月5日	374,207	66,481	219,873	87,853	0	0	100.0
計			5,431,318	207,697	4,584,595	639,026	0	0	100.0

(5) 園芸施設共済

(引 受)

項目 区分	組合数	組 員 合 数	引 棟 受 数	設 面 積	共済価額	共済金額	保険金額	徴収 保険料	交付金	手持 保険料
		人	棟	m ²	円	円	円	円	円	円
ガラス I類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II類	3	10	23	23,173	201,218,000	160,964,000	144,867,600	224,477	96,912	321,389
プラスチック I類	2	3	3	454	435,000	347,000	312,300	4,418	3,415	7,833
II類	3	1,726	5,627	1,089,960	1,078,180,000	859,877,000	773,889,300	15,750,021	9,555,822	25,305,843
III類	3	150	243	140,800	276,376,000	217,656,000	195,890,400	2,350,872	1,987,483	4,338,355
(甲) IV類	3	95	152	68,816	148,767,000	118,944,000	107,049,600	717,482	663,463	1,380,945
(乙)	3	42	61	34,223	196,840,000	157,440,000	141,696,000	940,639	867,149	1,807,788
V類	3	9	11	4,675	24,005,000	19,198,000	17,278,200	34,014	34,815	68,829
VI類	3	87	401	73,056	55,231,000	44,017,000	39,615,300	341,087	267,551	608,638
計	3	2,122	6,521	1,435,157	1,981,052,000	1,578,443,000	1,420,598,700	20,363,010	13,476,610	33,839,620

引受の状況

既存施設の減少する中、棟数は対前年度491棟の減となったが、大型ハウスの引受により共済金額では55,137千円の増となった。

(被 害)

項目 区分	被 害				被害額	共済金	保険金	共済金 共済金額
	組合数	組 員 合 数	棟 数	附 帯 施設数				
ガラス I類	—	—	—	—	円	円	円	%
II類	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック I類	0	0	0	0	0	0	0	0.0
II類	3	193	364	17	20,426,500	16,291,124	14,661,856	1.9
III類	3	19	27	0	2,398,309	1,917,166	1,725,437	0.9
(甲) IV類	3	8	8	0	496,704	397,140	357,423	0.3
(乙)	1	1	1	0	30,492	24,393	21,953	0.02
V類	0	0	0	0	0	0	0	0.0
VI類	2	3	6	0	359,792	284,808	256,325	0.6
計	3	224	406	17	23,711,797	18,914,631	17,022,994	1.2

被害の状況

施設の被害は9月の台風14号による風水害や12月の雪害が主なもの。とりわけ9月6日の台風14号により県下で287棟、支払共済金13,758千円の被害となった。内作被害は7月初旬の集中豪雨による風水害が主なもの。

(支 払)

実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金 保 険 金
	再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
円 17,022,994	円 3,358,820	円 13,664,174	円 0	円 0	円 0	% 100.0

(6) 任 意 共 済

1. 建 物 共 済

(引 受)

① 農 家 建 物

項目 区分	加入棟数	保険金額 (共済金額)	保険料(共済掛金)		1棟当たり 平均保険 (共済)金額	再共済 掛 金	再共済 手数料 収 入
			純保険料 (純共済掛金)	賦 課 金			
保険関係	棟 74,147	円 669,692,060,000	円 377,048,752	円 50,236,207	万円 903	円 193,944,194	円 82,391,195

引 受 の 状 況

火災共済の共済金額は、対前年度93.0% (463億円減) となったものの、台風等自然災害が多発する中、総合共済の共済金額は、対前年度159.9% (208億円増) となった。

② 団 体 建 物

加 入 棟 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 たり 平 均 共 済 金 額
		純共済掛金	賦 課 金	
棟 16	円 280,000,000	円 132,602	円 72,448	万円 1,750

(事 故)

① 農家建物

事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) ^(イ)	支払保険金(共済金) ^(ロ)		再共済金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$
		火 災	総 合		
棟 309	円 669,692,060,000	円 155,560,272	円 68,459,247	円 67,205,717	% 0.033

事故の状況

火災共済の事故は全焼13棟、7月～11月にかけての落雷、総合共済の事故では9月の台風14号、12月～1月にかけての積雪による被害が主なもの。

② 団体建物

事故なし。

③ 建物共済原因別事故発生状況

農家建物

事故の原因別	事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) ^(イ)	支払保険金 (共済金) ^(ロ)	再共済金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$
(火災共済)	棟	円	円	円	%
失火	30	614,087,640,000	151,896,917	45,569,055	0.025
落雷	83		2,531,713	759,475	
盗難毀損	6		641,913	192,573	
車の飛び込みほか	5		244,414	73,323	
その他の	5		245,315	73,592	
計	129	614,087,640,000	155,560,272	46,668,018	0.025
(総合共済)					
失火	4	55,604,420,000	24,040,407	7,212,122	0.123
風水害	154		42,204,592	12,661,311	
雪害	13		1,171,712	351,508	
落雷	2		18,904	5,670	
盗難毀損	2		224,612	67,383	
その他の	5	799,020	239,705		
計	180	55,604,420,000	68,459,247	20,537,699	0.123
合計	309	669,692,060,000	224,019,519	67,205,717	0.033

2. 農機具共済

(引 受)

区分	項目	加入台数	保険金額 (共済金額)	保険料 (共済掛金)		1台当たり 平均保険金額 (共済金額)
				純保険料 (純共済掛金)	賦課金	
保険関係		台 8,550	円 8,670,810,000	円 30,894,890	円 3,284,619	万円 101

引受の状況

対前年度120台の増、共済金額38,923万円の増となった。また平均共済金額も3万円引き上げられた。

(事 故)

事故台数	加入総保険金額 (共済金額)(イ)	支払保険金(共済金)(ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
台 310	円 8,670,810,000	円 31,941,328	% 0.368	

事故の状況

機種別にはコンバイン146台、トラクター88台、田植機26台、その他50台で、対前年度支払共済金1,001万円の減となった。事故の原因は、接触、稼働中の事故及び9月の台風14号による水害が主なもの。

(7) 農機具更新共済

(引 受)

区分	項目	加入台数	保険金額 (共済金額)	減価共済金	保険料(共済掛金)			
					純保険料(純共済掛金)		賦課金	計
					損害部分	減価部分		
保険関係		台 212	円 305,320,000	円 265,400,000	円 1,080,417	円 42,884,356	円 306,130	円 44,270,903

引受の状況

新規引受25台、1台当たり平均共済金額は、144万円となった。

(事故・期間満了)

事故台数	期間満了 台数	加入総保険金額 (共済金額)(イ)	支払保険金(共済金)		被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
			火災・風水害等 (ロ)	期間満了による もの		
台 9	台 24	円 305,320,000	円 1,034,099	円 20,450,000	% 0.339	

事故・期間満了の状況

事故の内訳は、コンバイン3台、トラクター5台、田植機1台で、24台が期間満了のもの。